



三菱 [業務用] ロスナイ

# 天井カセット形スタンダードタイプ

形名	〈単相100V〉		〈単相200V〉	
	LGH-N15CS	LGH-N35CS	LGH-N15CSD	LGH-N35CSD
	LGH-N25CS	LGH-N50CS	LGH-N25CSD	LGH-N50CSD

## 据付工事説明書

販売店・工事店様用

据付工事を始める前に、この据付工事説明書をよくお読みください。据付工事は、必ず専門の工事店にて実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。据付工事が終わりましたらこの説明書とともに、お客様に必ずお渡しく下さい。

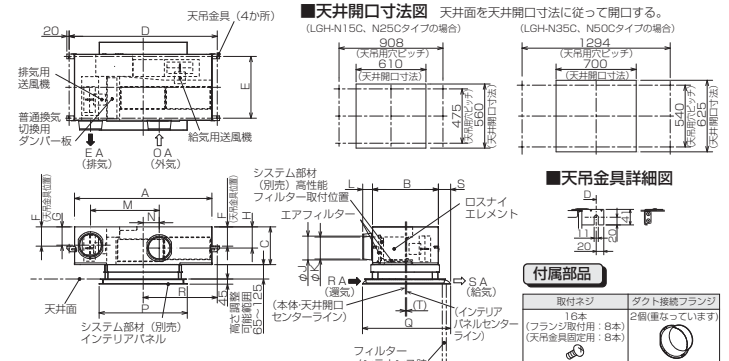
■この製品にはコントロールスイッチ他、別売のシステム部材が必要です。カタログ等により別途ご用意ください。

## 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

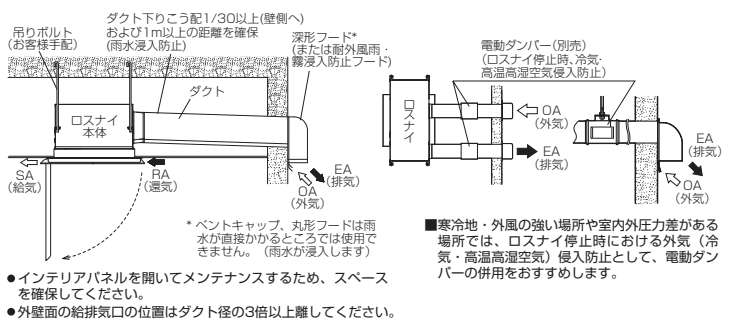
<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	<p>本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。</p> <p>端子台接続部は、指定の電線を使用し、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の原因。</p> <p>電気工事は、電気工事士の資格のあるかたが「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および、据付工事説明書に従って受け付け、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する 電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因。</p> <p>コントロールパネルは施工後、必ず閉める ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因。</p> <p>金属製ダクトがメタルラス・ファイラス・ステンレス板などの金属と、接触しないように取付ける 接触して取付けると、漏電した場合火災の原因。</p>
<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの	<p>高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない 火災の原因。</p> <p>機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には据付けない 故障の原因。</p> <p>塩害・温泉害などの発生している場所には据付けない 地盤劣化による漏電火災や故障の原因。</p> <p>開梱後はすみやかに付属部品のダクト接続フランジを取付ける 取付け前に開口部へ手をかけたりすると、けがの原因。</p>

## 外形寸法図



形名	外形						ダクト接続フランジ						ダクトピッチ						インテリアパネル						質量 (kg) (本体のみ)	インテリアパネル形名
	A	B	C	D	E	F	呼び	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y		
LGH-N15Cタイプ	814	510	268	908	475	118	φ100	160	156	110	97.5	60	300	11	670	685	454	103	15	18	PZ-N125SP					
LGH-N25Cタイプ	814	510	268	908	475	118	φ150	160	156	160	142	70	300	11	670	685	454	103	15	18	PZ-N125SP					
LGH-N35Cタイプ	1202	577	330	1294	540	168	φ150	160	185	160	142	70	600	140	770	770	647	107	10	28	PZ-N1350SP					
LGH-N50Cタイプ	1202	577	330	1294	540	168	φ200	160	185	208	192	86	600	140	770	770	647	107	10	29	PZ-N1350SP					

## 標準据付例



## 本体の据付け

■据付工事の流れ



●システム部材（別売）インテリアパネル（天井カセット専用）の据付工事説明書もあわせてご覧ください。

**1** ダクト接続フランジの取付け

ダクト接続フランジを付属の取付ネジで本体に取付ける。  
※S5、S10タイプの場合は、片側のダクト接続フランジがあらかじめ本体に取付けてありますので、残りのフランジのみ取付けてください。（取付ネジは4本余ります）

●ダクト接続フランジを取付ける前に本体内部に異物（紙・ビニールなど）が入っていないことを確認してください。

**2** 天井金具の固定

- 天井金具のネジをゆるめる。
- ゆるめたネジを中心に天井金具を90度回転させ、水平にする。
- ゆるめたネジおよび付属の取付ネジで製品にしっかり締め付け固定する。

※天井金具は工場出荷時本体にたまたんだ状態で固定されています。

**3** ワッシャー・ナットの取付け

あらかじめ埋め込んである市販の吊りボルト(M10)に左図のように市販のワッシャー（外径21mm以上）・ナットを取付ける。

**4** 【防振ゴム（お客様手配）を使用する場合】

防振ゴム（お客様手配）を使用する場合は、強度低下の原因になる可能性がありますので、左記のような施工を推奨します。

**5** 本体の固定

- 天井金具を吊りボルトに引掛け本体が水平になるよう調節する。（斜め天井への据付けはしないでください）
- ゆるみ防止のためダブルナットで確実に締め付ける。

●断熱材 アルミテープ

●ダクト

●接続フランジ

●断熱材

●ダクト

●接続フランジ

**6** ダクトの接続

- ダクトをダクト接続フランジにしっかり差し込み、風漏れのないよう市販のアルミテープを巻き付ける。
- ダクトはロスナイ本体に力が加わらないよう天井から吊る。
- 室外側ダクト2本（外気・排気ダクト）には、結露防止のため必ず断熱材を巻き付ける。

●ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物（紙・ビニールなど）が入っていないことを確認してください。

## お願い

- 霧・もや・高温高湿空気の発生する場所では使用する場合は別売システム部材の霧浸入防止用回路（PGL-S0FU4）や耐外風雨・霧浸入防止フード（PZ-N○○○CVU）を取付けてください。特に霧多発地域\*での使用は早期の機外水漏れにつながる場合がございます。（霧・もや：視界範囲が10km以上となる高湿度状況）
- 高温多湿条件（30℃以上と湿、相対湿度80%以上）や霧多発地域\*で長時間使用となる場合、エレメント内部に結露が生じてトラブルが発生することがあります。このような条件下では使用できませんので、耐湿形ロスナイをご使用ください。
- 霧多発地域
  - 視程50m～200mの濃い霧が3時間以上/日発生する地域
  - 山間部、湖、海岸など高湿度な空気発生のある地域
  - 1か月に複数回、1晩以上霧が継続して発生する地域
- （右表は上記にあてはまる地域を気象庁「気象統計情報」より抽出したものです。右表以外の地域でも上記にあてはまる地域は霧多発地域となります）

都道府県名	地域名
北海道	稚内、北見枝幸、釧路、釧路、釧路、網走、寿都、江差、苫小牧、室蘭、浦河、帯広、根室
青森	八戸
岩手	高宮
宮城	石巻
福島	小名浜
栃木	奥日光
千葉	鏡子、龍山
静岡	石廊崎、園前崎
長野	軽井沢
高知	室戸岬
長崎	平戸、雲仙岳
熊本	阿蘇山

- 外風の強い場所や室内外の圧力差がある場合、寒冷地や露の発生しやすい場所では運転停止時、冷氣・外風・霧・高温高湿空気が侵入することがありますので、電動ダンパーを必ず併用してください。また、寒冷地や露の発生しやすい場所以外でも室内外の圧力差や外風により外気が製品内部に侵入するおそれがありますので、電動ダンパーの併用をおすすめします。
- 寒冷地などでは使用条件範囲内で使用する場合でも、外気条件と天井裏湿度条件によって、本体表面およびダクト接続部が結露、結氷するおそれがあります。このような条件下では使用される場合は断熱材重ね貼りの追加工事を実施してください。別売の「寒冷地設置用断熱材」（受注対応品）を準備しています。（寒冷地設置用断熱材の各種サイズへの裁断および貼り付けはお客様にて実施となります）
- ※結露条件例 外気：0℃以下、設置場所露点温度：10℃以上（天井裏温度22℃以上で相対湿度50%以上のときなど）
- 電気・電子機器や濡れて困るものの上に製品を設置しないでください。外気や設置場所の湿度条件により製品から露が落ちて、破損や汚損につながる場合があります。
- 雨水浸入防止対策を施してください。（標準据付例の雨水浸入防止をご参照ください）
- 天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
- 給気・排気が湿らさない配管工事を行ってください。
- 給気側屋外フード近くに窓面などがあり、照明に虫が集まりやすい環境下でご使用の場合は、別売の虫侵入対策部品を取付けることをおすすめします。（室内給気へ小さな虫が侵入するおそれがあります）
- 室外側のOA（外気）ダクトに過大な圧力損失がかかるOA（電気）側からSA（給気側）へ空気漏れが増加する傾向があります。OA側に過大な圧力損失がかからないよう施工してください。
- 火災感知器は感知部をインテリアパネル給気口から1.5m以上離れたところに取付けてください。
- スプリングヘッドはインテリアパネルから30cm以上離れたところに取付けてください。
- 外壁面の給排気口の位置はダクト径の3倍以上にしてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）
  - 極端な曲げ
  - 多数の曲げ
  - ダクト接続フランジのすくまへの曲げ
  - ダクト径を極端にしぼる

